

スポーツ功労賞

| No. | 推薦団体 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 市町村名 | 功績等 |
|-----|-------------------|--------------------|----|----|-------|--|
| 1 | 福島県ソフトテニス連盟 | えんどう ゆういち 遠藤 雄一 | 67 | 男 | 郡山市 | 長年にわたり福島県中ソフトテニス連盟会長として全日本招待インドアソフトテニス選手権大会郡山大会を開催し、県内外から優秀な選手を招聘し、ソフトテニスの競技力の向上と選手の育成に努めた。 また、福島県ソフトテニス連盟副会長として大会運営や組織拡充に努め、多大なる功績を収めた。 ○副会長10年 |
| 2 | 福島県テニス協会 | とがわ としお 戸川 稔朗 | 71 | 男 | 会津若松市 | 副理事長として前理事長を補佐し、福島国体レフェリー、東北で初めて会津若松市で開催された国際大会デビスカップ(日本vsウズベキスタン)を誘致しディレクターを務めた。また、(公財)日本テニス協会評議員、(公財)日本テニス協会実業団委員会委員として福島県において4度、全国実業団対抗テニス大会をディレクターとして開催した。会津若松市の総合運動公園テニスコートとあいづドーム24面を砂入り人工芝コートに改修し、全国中学生テニス選手権大会や全国インターハイテニス競技を開催するなど実行力を発揮し連盟の発展に貢献した。 ○理事長12年 副理事長15年 |
| 3 | 福島県バドミントン協会 | やまもり ゆうこ 山森 祐子 | 76 | 女 | 福島市 | 平成4年から令和2年まで、29年間にわたり福島県バドミントン協会の普及・振興と競技力向上、ジュニアからシニアまで会員登録者数の拡大など福島県バドミントン協会の発展に寄与した。また、全国大会誘致においては、福島県レディースバドミントン連盟としての立場も活かし、日本マスターズ(平成16年)全日本シニア大会(平成21年・令和元年)全日本社会人大会(平成25年)全日本教職員大会(平成29年)全日本シニア大会(令和元年)等、数々の大会を成功に導いた。 ○副会長13年 |
| 4 | 福島県スキー連盟 | すずき やすいち 鈴木 安一 | 73 | 男 | 二本松市 | 1990年から2005年に福島県スキー連盟理事及び常任理事を経て、2010年から副会長を6年間、2016年から2019年にかけて会長を歴任し、福島県のスキー競技の競技力向上に尽力した。また、(公財)全日本スキー連盟の評議員及び全日本スキー連盟東北ブロック連合会長を務め、スキーの普及・発展に寄与した。あだたら高原スキー場運営協議会の会長でもあり、地域における一般スキーの普及にも尽力した。 ○会長4年 副会長6年 |
| 5 | 福島県ハングパラグライディング連盟 | やまぐち ゆきお 山口 幸雄 | 69 | 男 | 猪苗代町 | 現在の組織の前進である福島県ハンググライダー連盟時代から組織運営に携わり、平成2年のパラグライダー副会長として新組織設立に貢献し、平成17年より会長として15年間務め、現在も連盟会長として連盟運営に関わり組織の発展に貢献している。 ○会長15年 副会長10年 |
| 6 | 福島県スポーツチャンバラ協会 | こみね しのぶ 小峰 忍 | 79 | 男 | いわき市 | 長年にわたり、福島県スポーツチャンバラ協会の組織運営・競技発展に尽力した。後進の指導に精力的に励み、競技者の指導だけでなく審判養成など講習会に意欲を持って励み競技力向上・競技の普及に貢献した。競技や協会の発展に大きく貢献しその功績は多大である。 ○副会長4年 理事長4年 副理事長5年 |
| 7 | 会津地域連合会 | おおはし てつお 大橋 哲男 | 71 | 男 | 会津若松市 | 平成21年に会津若松市体育協会の副会長に就任、平成23年からは会津若松市体育協会の会長として、12年にわたり会津若松市のスポーツの振興、社会体育の推進及び市民の健康増進等に尽力した。また、会津若松柔道会の会長も歴任し、競技を通じた市民の体力の維持向上や青少年の健全育成にも尽力した。 福島県体育協会の理事や常務理事として、会津若松市のみならず、会津地域そして県内のスポーツ意識の高揚と地域スポーツの普及・振興に貢献した。 ○会長10年 副会長2年 |
| 8 | 相双地域連合会 | かたやま よしお 片山 義雄 | 72 | 男 | 南相馬市 | 10年以上にわたり南相馬市体育協会副会長として、協会の運営並びに発展に尽力した。 また、現在南相馬市サッカー協会会長を務め、サッカーを通じ、多年にわたる青少年の健全育成及びスポーツ振興に寄与した。 ○副会長12年 |